

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キンダールミナス				公表日		2025年2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		・昨年新築された建物ではあるが、使用していく中で、子どもの安全を重視し、階段へのゲートやキッチン入口扉への鍵等、随時必要と思われる設備の改善を行ってきている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・2階にもトイレがあると良い	・トイレの増設は難しいため、子どものトイレのタイミングが重ならないよう声かけを行いながら快適に過ごせるよう努めたい。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・正式な会議や書類に加え、職員同士の日常会話として情報交換も行っている。	・引き続き全職員で情報を共有できるよう努めたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・昨年開所の為、今回初めて保護者からのアンケート評価を実施した為、今後この内容を職員全員で共有し、業務改善に努めたい。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・ほめ育の導入により、単なるミーティングだけではなく、職員同士も互いに意見を言いやすい関係を築けてきている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・第三者による外部評価については、検討していく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法人も個人も研修参加には積極的である。	・児童発達支援管理責任者研修をはじめ、虐待防止研修等、業務に関連する研修については積極的に参加を促している。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		・現在ホームページ作成中のため、近日公表予定。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		・毎日のミーティングを通して意見交換を行いながら、計画内容や目標、課題等について共有できている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		・今後専門的知識を持った職員の採用やツールの導入などによるフォーマルなアセスメントも検討していく。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・担当職員がまず立案したプログラムを職員全体で検討し、見直し等を行っている。さらに情報の共有を行っている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・学校での様子、保護者からの情報提供を課題に反映している。	・その都度子どもの変化を見逃さず、その時の子どもに最適なプログラムを検討し、固定化しないよう留意していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		・子どもの課題や発達に応じて、小集団での活動等も引き続き取り入れていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		・当日は全職員が集まる時間が取れないことも多いため、遅くとも翌日にはミーティング等で振り返りを行い、情報共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	1		・宿題が先か、療育が先か等、施設に来てからのさまざまな場面で、自分で選択できる支援を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		・事業所間や、相談支援事業所、また園等と情報共有を積極的に行い、支援について理解を深めながら関わりを深めている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		・学校行事や早帰りの日等、各学校との情報共有に努め、一覧にし、全職員で共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		・まだ開設して間もないため、事例が無い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		・今後必要に応じて連携を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・保護者から特に希望はない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・施設長及び児童発達支援支援管理責任者の2名で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		・引き続きこまめな情報提供は行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・集団でのペアレントトレーニングは行っていないが、個別に対応している。	・送迎の際に保護者に伝えたり、コドモンアプリを通して密に連絡を取り合うことができている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・契約時、更新時等説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・半年に一度の面談や、日々送迎時には積極的に保護者のニーズを聞き取る機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		・今後も要望があれば随時面談や見学等の対応を行い、家族支援を行っていく。送迎時等、家族の様子や家庭の状況も気にかけるようにし、必要であればこちらから声かけも行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5	・保護者から特に希望はない	・今後も要望があれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		・苦情窓口を設置し、周知しているが、今のところ苦情はいただいていない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		・コドモンアプリでの個別の発信や、インスタグラムによる発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		・十分に配慮している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・十分に配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・長期休み時に地域の施設等への訪問を行った。今後も引き続き地域に開かれた運営を行いたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・各種マニュアルについては、利用者の方がいつでも閲覧できるようにしていく。また訓練実施時には、保護者の方にも周知を行っていききたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・避難訓練については、さまざまな災害を想定して継続していききたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・アレルギー指示書に基づき対応する。誤食などが発生しないよう、全職員で十分情報を共有する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・非常時の対応や取組内容について、家族等への周知を図りたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・もしヒヤリハット事例が発生した場合には速やかに情報の共有を行い、再発防止に努め、対応の確認や環境整備を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・全職員が研修受講できるようにしている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・保護者の方に同意書を記入していただき、実施した場合は記録し、説明を行っている。	